

<七日経・年忌法要と十三仏>

1	初七日	不動明王
2	二七日	觀世音菩薩
3	三七日	文殊菩薩
4	四七日	普賢菩薩
5	五七日	地藏菩薩
6	六七日	彌勒菩薩
7	七七日	藥師如來
8	百ヶ日	觀世音菩薩
9	一周忌	勢至菩薩
10	三周忌	阿彌陀如來
11	七周忌	阿閻如來
12	十三周忌	大日如來
13	三十三周忌	虛空藏菩薩

高「今回のテーマは三回忌本尊阿彌陀如來さまです。この阿彌陀如來とはいつたいどういった仏さまなのですか?」

渡「西の彼方にあるといわれている極楽

高「今回の法事は千燈祭が十月八日・九日と一日間にわたり厳修されます。千基の法灯を灯し真言密奥の柴燈大護摩祈祷で私たちの祈りを届けます。八日には宝劍を使つた「宝劍加持」が、九日には火渡りをする「火生三昧」も行われます。皆さんも炎に想いを乗せて仏さまに届けましょう。さて今回は三回忌本尊「阿彌陀如來」のおはなし。毎月十五日に東山奥之院にて阿彌陀如來縁日を厳修されている渡邊正大僧侶に登場いただきました。

四十八のご誓願

高「今回のテーマは三回忌本尊阿彌陀如來」のおはなし。毎月十五日に東山奥之院にて阿彌陀如來縁日を厳修されている渡邊正大僧侶に登場いただきました。

渡「西の彼方にあるといわれている極楽

高「阿彌陀如來の三回忌御本尊としての役割を教えてください」

渡「これまでの寺通で書かれているように、人は亡くなつてから四十九日で「満中陰」となり次に行き先が決まりますが、実は、生前悪い行いをたくさんしていた人はそこで決まらないのです。ですが三回忌では必ず阿彌陀如來に救われるといわれています。それはこの仏さまがどんな悪人であつても救うのだ、と誓いを立てているからなのです。」

高「今日は正大さんにお話していただきました。来月十一月は奥之院大祭縁日、善之綱祈祷とロウソク奉納がございます。みなさま、ぜひご参拝ください。」

合掌

ツウの細道

高「ところで正大さんは特に好きな阿彌陀如來さまっていますか?」

渡「五劫思惟阿彌陀如來といいまして、修行に集中しすぎて髪の毛を剃るのを忘れちやつた阿彌陀さまがおられます。髪型がブロッコリーみたいになつていて個人的に一番の推し仏です。」

高「プロッコリー素敵ですね。」

渡「アプローバーというのでしょうか……一度見たら忘れない、お顔ですよ。」



△正大さんと奥之院縁日



高野正清

たかのしょうせい

高「だから、阿彌陀如來の祀られている興正寺西山本堂の正面にも「無量光」という額が飾られているのです。」

高「おまかせいたすくい」
渡「おまかせいたすくい」

の言葉で、無限の光をアミターバ、無限の寿命をアミターユスといいます。これらの音を写して阿彌陀となつたのです。」

高「光明無量の願」(限りなき光の仏となり、世界の全てを照らしてどこにいる衆生であつても救う)、「寿命無量の願」(限りなき命の仏となり、過去・現在・未來のあらゆる時代の衆生を救う)などがあります。この誓願は阿彌陀如來の名前の元にもなつているのですよ。昔のインド

千基の法灯で祈りを捧ぐ 千燈祭

せんとうさい

平成28年度
プログラム

10月8日

宝剣加持

不動の法力の宿った宝剣で難を切り、
健康や交通安全を祈ります。

10月9日

火生三昧

迷いを焼き払い、火難消除・家内安全を祈り、
炎の道を渡ります。

※ 宝剣加持・火生三昧は特別護摩木を奉納いただけます。

15:00 稚児(寺外)お練り出発・和太鼓奉納(於 平成大仏前/知多半島和太鼓こころ会)

16:00~ 願い燈籠・供養燈籠点灯

17:00~ 披露株(僧侶披瀬)(於 西山本堂前よりご観いただけます)

17:30 山伏・稚児行列(寺内)出発(於 御道)

17:45~ 柴燈大護摩祈祷開始(於 天日堂広場)

18:15~ 柴燈大護摩壇点火・稚児祈祷・和太鼓奉納(於 大日堂広場)

18:30~ 特別大護摩祈祷
※ 特別護摩木を自らの手で役にいただけます。

19:00~ 宝剣加持 火生三昧
※ 特別護摩木を授じられた方がご参加いただけます。

20:00頃 千燈祭終了
※ スケジュールは都合により変更になる可能性があります。

見晴らし茶席 17:00~20:00

真言秘奥 柴燈大護摩祈祷 17:45~

【見どころガイド】

其の一 山伏問答

護摩壇を加護する山伏と問答で智慧比べ。「自分はこういう者です。柴燈大護摩供に参加させてよ。」と始まりますが…そこは真言秘奥、簡単には通してもらえません。



其の二 宝弓之儀

護摩壇に火を灯す前には悪いものが入らないよう、斧や剣で清め結界が張られます。山伏が放った矢を受け取った方は持ち帰り、家の厄除破魔矢として祀ります。



其の三 真棒を燃やせ!!

誕本尊大日如来の智慧の火を松明に灯し、柴燈大護摩供にて祈願の文「願文」を奉読します。護摩壇の煙には御利益があります。
お舞い上がる火の粉にはご注意ください。



境内図

***** 山伏・稚児行列進行ルート

オススメ撮影ポイント

お手洗い



祈願

願い燈籠

要申込



施主様の難を除き、その
願いを天に届けるため
奉納する燈籠です。

僧侶が大護摩壇前にて
願意の読み上げをし、
祈願いたします。

【祈願料含む】
3,000円 (1基一願)

供養

供養燈籠

要申込



先祖の御靈を供養するために一つずつ
手作りされる燈籠です。二日間灯され、
仏の智慧の光で供養します。

◆ 燈籠(特別護摩木・御札付き)
【供養料含む】

2,000円 (1基一燈)

◆ 燈籠のみ

【供養料含む】

1,000円 (1基一燈)

八事山歳時記

平成二十八年度 孟蘭盆会

孟蘭盆会諸法会が厳修されました。八月十日(水)からはじまった合同供養会期間中はご先祖さまの供養にと、大変多くの方が参拝に訪れました。山内各所にはお盆に祖先を迎えるために作られる精霊棚も置かれ、興味深そうに写真を撮る姿も見られました。

盆を締めくくる盆踊りは天候のため十四日(日)のみの開催となりましたが、ミス酒愛知がやぐらに登場するなど大いにぎわいました。



△精霊棚(西山本堂)



△8月12日 初盆合同供養会



△8月13日 興正寺施主慰靈法会



△8月14日 盆踊り



△8月14日・15日 精霊流し



△8月14日・15日 特別呈茶「花水の席」

觀音堂九万九千日

八月十日(水)

参拝をすれば功德が九万九千日分にも広がるとされる九万九千日法会が、去る八月十日(水)に興正寺西山觀音堂で厳修されました。真夏の日差しの中、訪れた参拝者は観世音菩薩との勝縁を結ばれました。



地蔵菩薩大祭縁日

八月二十四日(水)

八月二十四日、地蔵菩薩大祭縁日が厳修されました。お集まりいただいた皆さまでおつとめした後に、菓子まき、大数珠おくり、僧侶による「さる地蔵」の紙芝居が行われました。「お寺でおとまり会」の子どもたちも加わり、多くの方にご参加いただいた和やかなご縁日となりました。



お寺でおとまり会

八月二十三日(火)・二十四日(水)

今年二回目となる、小学生を対象にした二泊二日の「お寺でおとまり会」が行われました。子どもたちは、花火や肝試しなどの楽しいレクリエーションのほか、朝のお勤めや食事作法などお寺ならではの事も体験しました。初めは緊張の面持ちだった子どもたちも、本堂での閉会式のときには笑顔いっぱいになっていました。またのご来寺をお待ちしています！



第2回 終活道場（特別篇）

九月十一日(日)



九月十一日(日)に終活道場が開催されました。本年は「お寺だからこそできる終活」をテーマに、自らの「死生観」を問いかける作務や瞑想の時間を通じ、「よりよく生きること」を感じ取っていただける場となりました。

八月二十四日(水)

去る八月二十四日(水)、
興正寺納骨堂の二つ仏羅陀
淨苑の、本尊・地藏菩薩の
縁日に合わせて地蔵盆が厳
修されました。近しい方が
納骨されている壇信徒の皆
さまが参拝に訪れ、お盆の
締めくくりとして、亡き
方々の冥福をお祈りしま
した。



一梵風が魔を吹き飛ばす一

九月五日(月)

九月五日(月)、西山本堂にて大般若經転読祈禱会が厳修されました。大勢の僧侶によつて転読される六百巻もの經典が起こす風(梵風)は、魔やケガレを吹き払うと同時に經典の功德を授けると言われています。古くより五穀豊穰や國家安寧を祈願し執り行われてきたこの大法会は興正寺では一月・五月・九月の年に三度、行われます。





緊ぎあわせた、縦一列を「条」とよぶ。
この他に九条袈裟などがあります。

△行事で使われた法衣の解説より、真言宗の衣も多種多様。



△施餽鬼会では法要後の塔婆とおひき渡しをする



●佐野 弘久さん

1940年名古屋市生まれ。
大誠法衣店代表、興友会会長。古文書読解と1940~50年代の洋画観賞が趣味。

多くの露店と、参拝者で賑わう毎月五日・十三日の興正寺縁日。西山本堂横の窓口で、佐野さんの和やかな顔を見たことがある方も多いのではないだろうか。

大誠法衣店は終戦直後の昭和二十五年頃から商いをはじめた。

佐野さんは寺院相手の御用聞きとして、僧侶が身に着ける衣(法衣や袈裟)、作務衣などを取り扱う。法衣は宗旨宗派によって色や形、呼び名が多岐にわたり、それ

ぞれの注文に合わせて作っていくため膨大な知識と時間が必要だ。堂宇の建立や節目の大法要

で法衣を新調する場合には、別

注で生地を織るところから始ま

り、手間のかかるものでは半年

以上かかるともあるという。

寺院の日々のつとめや法会・行

事運営においては、僧侶・職員た

けではなく、様々な人や団体の力

を借りることではじめて成り立つ

ている。興正寺において、その中核

を担う団体の一つが昭和二十九年

より六十年以上続く「興友会」

で、佐野さんは五、六年前から会の

取りまとめ役だ。

現在は大誠法衣店をはじめと

したお寺に出入りする六社が「興

友会」のメンバーとなっている。法衣、仏具、花:みなそれぞれ寺には欠かせない品物を扱い、多種多様な注文を受ける店であると同

時に、縁日のほか、春秋のお彼岸、盆など様々な場面で運営を手伝

う。ときに、入山して日の浅い職

員が、山内の行事法会について教

えてもらう場面もある。

「お寺は我が家のような、ふる

きとのような場所。みんな家族の

ように思い付き合っているし、お

互いに信頼し信頼されて仕事を

していきたい」。佐野さんはそう、

ここまでしようか、いいえ、誰でも。

金子みすゞ「まだまでしようか」

「遊ぼう」つていうと、「遊ぼう」つていう。

「ばか」つていうと、「ばか」つていう。

「もう遊ばない」つていうと、「遊ばない」つていう。

そうして、あとで／さみしくなって、

「こめんね」つていうと、「こめんね」つていう。

こだまでしようか、いいえ、誰でも。

「身體・言葉・心。この三つを同時に高めていくことが大切だというお大師さまの教えの一つです。

このコーナーでは、声に出して誰かに聞かせてあげたい言葉たちを毎月ご紹介していきます。

人と街とお寺をつなぐ場所 八事山文庫

地域版

寺は我が家 寺はふるさと



神無月

旧暦十月の

寒露

十月八日

霜降

十月二十二日

神々をまつる「神の月」
新穀で酒を醸す「醸成月」

夜が長くなり、露がつめたく感じら
れる頃、朝夕の涼え込みが始まるが、
空気は澄み秋晴れの日が多くなる。

朝夕の涼え込みが強まり、山里や北
国では霜が降り始める。露は霜へと變
わり、段々と冬が近づいてくる。

大誠法衣店 佐野 弘久さん

大誠法衣店

あま市甚目寺大洲1-11 TEL 052-444-0317 【定休日】土・日

親子で読みたい

ことのは
あそび

「身口意」。

身体・言葉・心。この三つを同時に高めていくことが大切だというお大師さまの教えの一つです。

このコーナーでは、声に出して誰かに聞かせてあげたい言葉たちを毎月ご紹介していきます。



詩人、金子みすゞの作品です。テレビCMに使われたこともあり、耳にしたことのある方も多いのではないかと思います。

まるで少女のようなどけなさと透明感。彼女は僅か二十六歳でその短い生涯を閉じました。五百を超える作品たちは二十歳からの約五年間に創られたと言われています。



昨日
今日
あした…
八事のお山の

里山の栗の実

八月お盆、九月お墓地参道を歩いてい
る好い花とお花や線香、故人が
さまでありますね。彼岸は、「先祖さまに
相対し、仏さまに手を合わせる事の多い季
節でした。お墓や仏壇など、「お供えを致します。
春の彼岸には牡丹の花になぞらえてぼたん
餅を、秋は萩の花には牡丹の花になぞらえてぼたん

季節から、千燈祭をおりです。そして八事の
お山は感謝と供養の季節が終われば実りの季
節、柿に栗、ドングリが山盛り季節から、千燈祭を



萩の花

時期なのでおはぎを、と言われます。始め、祈りの季節に入り園に咲く萩の花。お写真は興正寺普門

興正寺へのお問い合わせは

- ・お電話 052-832-2801
(年中無休9:00~18:00)
- ・E-mail yagotosan@koushoji.or.jp
- ・興正寺HP、公式Facebookは
随時更新中です

仏のこと、なんでも知ってるよって人はいますか？

自信をもって手を挙げられる人は少ないんじゃないのかな。いざその時になってみないとわからない仏事のあれやこれ、お坊さんに聞いて一つずつ解決しちゃいましょう。

その21 「お稚児さん」

仏事の
ひふみい
お坊さん ひふみちゃん



おっさま聞いてください！
わたし今度お稚児さんになるん
ですよー！



10月の千燈祭だね。
ひふみちゃんは初めてかい？



はじめて！去年お友達がお稚児さん
になっててかわいくて羨ましかったん
です！楽しみだなあ。

お稚児さんの行列は、お寺や神社の大きな行事で登場しますね。神さま仏さまが子どもの姿を借りて現れる…という昔の言い伝えからきてるんだよ。3回参加すると幸せになれるとも言われています。病気をしませんように、これからも元気で過ごせますように、としっかりお願ひしながら、がんばって歩いてね。



興正寺ホームページでは仏事のお悩みをズバッと解決！
トップページから、「仏事とお墓のお悩み解決」をクリック！



●甘味・食事処「八琴庵」より

日替わりランチ

興正寺の「日替わりランチ」に小鉢
が増えました。日替わりで楽しめて、
食後にドリンクがついて600円。
とてもお得で好評です。
(ランチ時間／11:00~14:00)



団体予約承ります

八琴庵では、下記条件にてご利用の皆さまのご予約を承っております。

○6名以上の団体様

または、

○「紗羅餐(さらざん)監修 季節のそば膳」ご予約の方(1名より受付)

※予約人数・来店の希望日時(時刻)等の詳細がお決まりでないご予約はお取り扱い兼ねます。

※状況によりお席をお取り置きすることが難しい場合もございますので、ご了承ください。

八琴庵 営業時間と定休日のお知らせ

営業時間 9:00~17:00(L.O.16:30)

定休日 毎月5日を過ぎた火曜日

10月の定休日は10月11日(火)

11月の定休日は11月8日(火)

石碑でめぐる歴史浪漫

参 興正寺と文化人

明治から大正期にかけて、興正寺には多くの文人が集い楽しんだといいます。その最たるもののが「愛知洒落部」(通称「御洒落会」)です。

中心人物であった伊勢門水は、狂言を能くし、狂言画では随一と謳われましたが、常人は二線を画した奇抜な人物としても知られ、井上浮木(狂言師・初世井上菊次郎)、

大口六兵衛(新聞記者)らとともに徹底的に奇行や馬鹿げた遊びをして楽しんだと伝えられています。世の中の評価などどこ吹く風、ひまを持てあました風変わりな文化人の交流の場でもあった御洒落会は、興正寺にもその足跡を残しています。

総本尊大日如来が見下ろす広場の向か



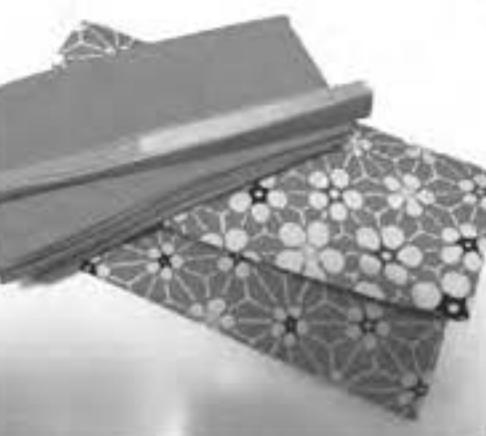
△カンチン井戸
『御洒落傳』御酒落伝刊行会



△伊勢門水
『明治の名古屋人』名古屋市教育委員会発行

されていませんが、三枚岩で作られた井戸は、茶室竹翠亭に向かう里山の坂道脇に移されており、往時を偲ぶことができます。

人々の意表をつく行いで人生を詠歌した文人たち。十二月号では、その偉業を讃え建立された石碑を紹介します。(川村)



和菓子で巡る

名古屋 お茶会スタンプラリー

開催期間 10/2(日)~12/18(日)

名古屋市内に茶室を持つ10施設で開催されるお茶会を巡る催しです。各茶会でだされる名古屋のおいしい「和菓子」も楽しめます。スタンプラリーに参加して、プレゼントに応募してください。

興正寺は、茶室竹翠亭が参加しています。

[お問い合わせ先] 茶室竹翠亭 TEL052-832-2801(10時~16時)

–秋の宝物展–

『一慈悲のはとけー観世音菩薩』

会期: 10月17日(月)~19日(水)
10時~16時(19日は15時終了)

場所: 普門園大書院(入口は茶室竹翠亭)

料: 500円(呈茶付)

竹翠だより

お茶が教えてくれた しあわせ

お茶のお稽古と申しますと、お点前やお作法のことだけではありません。

始めたばかりの頃は、季節や道具により変わる点前の順番を覚えるだけで精一杯でした。何年か稽古を重ねるうちに、点前以外のお話も耳に入るようになりました。

茶道は総合芸術で、茶碗・菓子器・花入れなどの陶芸、茶器・菓子器などの漆芸、風炉・釜の金工芸、袱紗・茶入れを収める仕覆・表装などに使われる道具によっては歴史も大切な要因となります。

時間がなくて、なかなか稽古ができるない方でも、季節の茶花や茶碗の型・産地・仕覆・表装に使われている伝統的な製のこと、和歌や禅語などの草書文字が読めたり、能や狂言を題材にした絵の粗筋がわかると茶会の趣旨が読み取れます。

何か一つ得意とすることを持つていて、たとえ慣れであってもお茶会を十分に楽しむ事が出来るのではないかでしょうか。

「茶会へのいざない」

縁日さんぽ。

縁日の行催事を中心に、興正寺の風景をお知らせしていきます!

大日堂 ドウダンツツジ植樹祭

観音堂 年に一度の秘仏開扉

奥之院 11月15日は大祭縁日です!



皆さまから志納いただきましたドウダンツツジ。秋の佳き日に、いよいよ大日堂花壇へ植樹いたします。ぜひ植樹にお立会いいただき、苗が育って大日堂に花を咲かせる様子と一緒に見守っていただければと思います。

「大日堂ドウダンツツジ植樹祭」

10月15日(土) 法要 10時より約30分
※雨天時は10月23日(日)に順延します

「観音堂秘仏開扉」

10月5日(水)・13日(木) 開扉法要9時より約1時間
秘仏開扉特別祈願10時~14時(特別祈禱料1,000円)

大祭では善之綱おくりに加え、本尊の阿弥陀如来と密教法具の五鉢を善之綱で結び、お一人さますつその五鉢に触れていただきながらお加持いたします。また本年度は特別な祈願ろうそくの奉納も予定しております。ぜひ皆さまご参拝ください!

「東山奥之院大祭」11月15日(火) 13時より

お参りしよまい!興正寺の諸堂縁日

興正寺の縁日は5日と13日だけじゃありません!山内のあちらこちらにある御堂で、様々な仏さまをお祀りして縁日のおつとめを行っています。誰でも参加できるこれらの縁日、御堂や担当のお坊さんによって雰囲気が全然違うんですよ!



仁和寺靈宝館秋季名宝展と 清水寺月の庭「成就院」中島潔画伯襖絵展

仁和寺・仁王門



クラブツーリズム特別貸切拝観

清水寺では中島潔画伯襖絵展を拝観
「風の画家」と呼ばれる現代の日本画家・中島潔氏が手がけ、
2010年に清水寺の成就院に奉納された46枚の襖絵をご覧いただけます。
※他のクラブツーリズムの団体も含めての貸切拝観となります。



昼食は、湯豆腐の名店で
知られる清水坂の「順正」
にて湯豆腐料理をご用意
します。

イメージ(通どうふは4人前)



朱印代 (料金表)
朱印代
600円
合計
600円

仁和寺靈宝館秋季名宝展
靈宝館にて阿弥陀三尊像(国宝)、吉祥天立像
(重要文化財)などの寺宝が多数展示されます。
※内容は変更となる場合がございます。

旅行期間

集合時間・場所

旅行代金

[日帰り] 平成28年 11月1日(火) 7時25分 / 興正寺光明殿 (おひとり様) 10,000円

7時30分より本堂にてお詫めを行います

申込締切 10月21日(金)

旅行企画・実施

クラブツーリズム株式会社 名古屋テーマ旅行センター

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-3-21 セントライズ栄 TEL 052-300-0011

統括営業部業者登録番号 [総合旅行業者登録管理者] 関洋弘行 手取28年6月15日受付 管理番号: 01719

お問い合わせは 八事山 興正寺 TEL 052-832-2801 FAX 052-861-9777
名古屋市昭和区八事本町78 フリーダイヤル 0120-8510-78

◆上記締切日に係わらず、募集人員(44名)になり次第、
締め切りとなります。お早めにお申し込みください。

ありがとうございました。心より感謝申し上げます。合掌
八事山 興正寺

至自 平成二十八年 八月一日
平成二十八年 八月三十一日

(順不同敬称略)
三枚 松本花子

地蔵普渡前かけ奉納
ご芳名

五口 倉田恵美子
一口 堀田立江
三口 木村静子
濱野安代 匿名
須田恵理子

大日堂ドウダンツツジ勧募
ご芳名

今月の「標語」

お経典から、先達の書物から、言葉から。
五重塔前掲示板よりご紹介します。

心穏やかに
静かに 生活する
先祖・縁者に感謝
安閑恬靜
△8月1日～ 杉浦 宣弘

隆弘
△8月15日～ 鈴村 隆弘

お坊さんと行く 興正寺団体参拝

興正寺団体参拝では當山僧侶が随行し、一緒にお経をつとめ、バス中では法話もございます。どなたでもお気軽にご参加いただけます。お寺やお坊さんを感じ、仏縁を深めていただければ幸いです。

平成28年度団体参拝予定

11月1日 (火) 仁和寺特別拝観と 清水寺月の庭「成就院」

【随行僧侶】小松 永明
【旅行代金】10,000円(昼食代含む)
【申込締切】10月21日(金)

- 日程、費用等は変更となる場合がございます。予めご了承ください。
- 募集定員に満たない場合は中止とさせていただきます。
- 各参拝の朱印等をご希望の場合は別途費用が必要です。
- 申込方法／ご来寺またはお電話にて ○支払方法／ご来寺にて前払い

お問い合わせ 光明殿受付 0120-8510-78

【取扱旅行会社】クラブツーリズム株式会社 名古屋テーマ旅行センター
〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-3-21 セントライズ栄 TEL 052-300-0011
観光庁長官登録旅行業第1693号 [総合旅行業務取扱管理者 鷲澤 弘行]
旅行業公正取引協議会会員

永代供養受付(五重塔横 光明殿1階)より 「ご案内時間・定休日と予約優先制」のお知らせ

●永代供養のご説明・ご相談は予約優先となります

永代供養に関するご案内・ご相談につきまして、混雑時のスムーズな対応のため、ご予約優先とさせていただくことになりました。持ち時間を短縮しスムーズにご案内できるように、ご来寺の前日までにお電話にて、ご予約賜りますようお願い申し上げます。

●ご案内時間の変更と定休日のお知らせ

毎月5日を過ぎた火曜日を定休日とさせていただきます。この日は光明殿1階にはお立ち寄りいただけません。ご不便をおかけいたしますが、何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます。

時 間 10時～17時(最終受付は16時30分) 定 休 日 毎月5日を過ぎた火曜日(10/11・11/8・12/6)

1.五重塔に向かって左手の建物へ



2.八琴庵が目印です。
自動ドアを奥へ



3.ご相談お待ちしております



ーお寺の法会まるごと体験！ー

いち にち しゅう よう え

一日修養会

平成28年の一日修養会、テーマは「興正寺の法会」。

季節ごとにおこなわれる法会は、お釈迦さまやお大師さまにまつわるものなどさまざまです。
くわしい解説を学んでから、法会に実際にご参加いただくことで、今までになく深く法会を体験していただけます。

法会参加者には特別朱印の授与もございます。(一日修養会専用朱印台紙つき)
もちろん、昼食と写経もございます。皆さまふるってご参加ください。

「法話・法会参加(奥之院大祭)・写経」

11月15日(火)10時～15時30分

“奥之院大祭”～阿弥陀仏と強く縁を結ぶ～

阿弥陀仏は西方極楽浄土の仏さまで、もっとも親しまれ、人気のある仏さまのおひとりです。興正寺は東山本堂も西山本堂も阿弥陀仏が祀られ、真言宗でありながら阿弥陀仏信仰も厚いお寺です。一年に一度、大祭という形で阿弥陀仏への敬信の想いを深め、阿弥陀仏の極楽浄土という理想郷を参詣者の皆さまと分かち合いたいと考えます。

○支具料：一般 2,300円 杜の響会員 1,300円
(昼食付・特別朱印授与)

○定員：60名 要予約 ○申込締切：11月10日(木)

○お問い合わせ・お申込み：光明殿受付／0120-8510-78

*支具料が事前にお納めいただけるようになりました。

今後の予定 | 12月4日(日)

日時・内容は変更することがあります。ご了承ください。

10月の興正寺講座

※日程・会場は変更する場合がございます。事前にお電話にてご確認ください。

佛讚歌

御詠歌上級

10月20日 13時30分より

金剛流御詠歌の上級者向け講座です。

講師 鈴村隆弘

光明殿

御詠歌初級

10月16日・21日 14時より

金剛流御詠歌の初心者向け講座です。21日は本堂出仕

講師 鈴村智弘

光明殿

体験する

阿息観

講師 杉浦宣秀

10月10日・20日・30日 14時より普照殿／奥之院

ストレスゼロをモットーに、毎月ゼロの日(10・20・30)にやっています。誰でも心地よくリラックスできますよ!

阿字観

講師 杉浦宣弘

10月22日 13時より

奥之院

真言密教の基本的な瞑想法です。阿字観で基本的な呼吸法を習得してから受講することをお勧めします。

写経・写仏

講師 横田英伸

10月21日 11時より

光明殿

毎月21日マルシェの日に行われる、写経写仏の体験です。どなたでもご参加いただけます。11時、13時より法話あり。

健康づくり

ゆらゆらペアストレッチ

講師 町田一寿

10月13日 ①10時②11時30分より 普照殿

支具料1,000円(予約優先・当日参加可)

TERA-YOGA(寺ヨガ)

講師 BIOTIC

10月21日 10時より

普照殿

支具料2,000円(要予約・〆切前日17時)

女性のためのヨガ

講師 スタジオソラ

毎週木曜日 19時30分より 西山本堂／普照殿

支具料2,000円(要予約・〆切前日17時)

学ぶ

仏教入門講座

10月27日 14時より

難しい用語を使わず、お経を中心に勉強していきます。

仏典読み解き講座

10月18日 10時より

仏典(仏教典籍)とは、仏教における権威ある書物のこと。ここでは、地獄極楽の古典的名著「往生要集」を読み解いていきます。

遊翠の心

茶室・竹翠亭にて行われる少人数制の講座です。時間や講座内容については、竹翠亭へお問い合わせください(全て要予約)。

写 経

10月11日

講師 西山海良

支具料1,500円

阿息観

10月25日

講師 西山海良

支具料1,500円

日々折々の書

10月24日

講師 中村 均

支具料2,000円

水墨画

10月28日

講師 山田静舟

支具料2,000円

きもの装い(初級・中級)

10月12日・20日 講師 小泉美代子

支具料2,000円

茶の古典を読む

10月6日

講師 横田英伸

支具料1,500円

健康づくり(ゆらゆらペアストレッチ、TERA-YOGA、女性のためのヨガ)の3講座は興正寺公式ホームページよりWEB予約することができます。

*他の講座もWEB予約ができるよう準備中です。

合格祈願会

祈祷料／五千円(御守付)

◆日時／10月～2月 第2・4日曜 14時より**◆場所／能満堂にて**

興正寺能満堂の御本尊・虚空蔵菩薩は智慧や知識を授ける仏さま。古くから「智慧守り」として篤く信仰されてきた虚空蔵菩薩へ、進学・就職・各種資格への合格を、祈願いたします。



興正寺行事カレンダー

10月

普門圓拝観時間 10:00~16:00

休園日／1日(土)・2日(日)・8日(土)・9日(日)・10日(月)
15日(土)・16日(日)・22日(土)・23日(日)・29日(土)・30日(日)

月	火	水	木	金	土	日
26 先負	27 仏滅	28 大安	29 赤口	30 先勝	1 先負	2 仏滅
3 大安	4 赤口	5 先勝 ○大隨求明王 緑日 露店アリ 10:00 諸堂干支参り ○観音堂秘仏開屏 9:00 開屏法要 10:00 秘仏開屏 特別祈願会 大隨求明王	6 友引 ▽遊翠の心 茶の古典を読む 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 柳田英伸 ☆女性のためのヨガ 19:30 普照殿 要予約	7 先負 戌の日 ○安産合同祈禱会 14:00 本堂	8 仏滅 寒露 ○大日如来縁日 理趣分經祈禱 12:30 大日堂 ○千燈祭 ・柴燈大護摩壇点火 18:15頃 ・宝劍加持 19:00 大日如來	9 大安 ○合格祈願会 14:00 能満堂 → ・柴燈大護摩壇点火 18:15頃 ・火生三昧(火渡り) 19:00
10 赤口 体育の日 △阿息観 14:00 奥之院 杉浦 宣秀	11 先勝 ▽遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山 浩良 ★八琴庵定休日 ★永代供養相談窓口 定休日	12 友引 ▽遊翠の心きもの装い 初級 10:00 中級 13:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円 ▽遊翠の心想掛の茶 11:00 12:00 13:00 14:00 竹翠亭 予約優先 支具料 1,000円	13 先負 ○虚空藏菩薩 緑日 露店アリ 10:00 諸堂干支参り 10:00 定例法話会 ○観音堂秘仏開屏 9:00 開屏法要 10:00 秘仏開屏 特別祈願会 ☆ゆらゆらヘアストレッチ 10:00 11:30 普照殿 ☆女性のためのヨガ 19:30 普照殿 要予約 虚空藏菩薩	14 仏滅 ○阿弥陀如來	15 大安 ○東山 奥之院縁日 13:00 奥之院 善之綱おくり ○大日堂植樹祭 10:00 大日堂	16 赤口 △御詠歌初級講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘
17 先勝	18 友引 ○觀世音菩薩縁日 13:00 観音堂 護摩祈禱/法話 ☆仏典読解講座 10:00 普照殿 柳田 英伸 △宝物展「慈悲のほとけ觀世音菩薩」10:00~16:00 大書院 拝観料500円(全茶付)	19 先負 戌の日 ○安産合同祈禱会 14:00 本堂	20 仏滅 △御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村 隆弘 △阿息観 14:00 普照殿 杉浦 宣秀 △遊翠の心きもの装い 初級 10:00 中級 13:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円 ☆女性のためのヨガ 19:30 普照殿 要予約 弘法大師	21 大安 ○弘法大師縁日 10:30 弘法堂 読経/法話 ○月並御影供 14:00 本堂 △写經写仏講座 11:00 光明殿 △御詠歌初級講座 14:00 本堂出仕 鈴村智弘 ☆TERA-YOGA 10:00 普照殿 要予約 興正寺マルシェ	22 赤口 △阿字観 13:00 奥之院 杉浦 宣弘	23 先勝 霜降 ○合格祈願会 14:00 能満堂
24 友引 ○地蔵菩薩縁日 13:00 能満堂 大数珠おくり/紙芝居 △遊翠の心 日々折々の書 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円 地蔵菩薩	25 先負 △遊翠の心 阿息観 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山 浩良	26 仏滅	27 大安 △佛教入門講座 14:00 普照殿 森田 泰澄 △遊翠の心 茶の扉 (要問合せ) ☆女性のためのヨガ 19:30 普照殿 要予約 不動明王	28 赤口 ○不動明王縁日 14:00 不動護摩堂 護摩祈禱/法話 △遊翠の心 水墨画 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円 不動明王	29 先勝	30 友引 △阿息観 14:00 奥之院 杉浦 宣秀
31 仏滅 戌の日 ○安産合同祈禱会 14:00 本堂	1 大安	2 赤口	3 先勝 文化の日	4 友引	5 先負	6 仏滅

千燈祭

-せんとうさい-

10月8日(土)・9日(日)

仏の智慧の炎によって煩惱を焼き尽くし、あらゆる罪を消滅させて
現世安穏・家内安全・諸願成就などを祈願する山伏修驗道最高秘法「柴燈大護摩供」を
中心とした當山最大行事、千燈祭が二日間にわたり執り行われます。

同時開催

「真言宗と山岳信仰」展

拝観無料

とき 平成28年10月8日(土)・9日(日)
14:00~17:00

ところ 西山本堂

特別
公開